

## 令和7年11月定例教育委員会議事日程

日時 令和7年11月6日(木)

午後3時開議

場所 市川市役所第2庁舎 大会議室

- 1 開会
- 2 会議成立の宣言
- 3 議事日程の決定
- 4 議案第22号 市川市奨学生選考委員会委員の委嘱について  
議案第23号 市川市教育支援委員会委員の解嘱及び委嘱について
- 5 その他
- 6 閉会

## 令和7年11月定例教育委員会提出議案

議案第22号	市川市奨学生選考委員会委員の委嘱について・・・・・・・・	義務教育課	1
議案第23号	市川市教育支援委員会委員の解嘱及び委嘱について・	教育センター	3
その他（1）	市川市教育委員会と國學院大學との博物館資料の保存 活用等に関する協定の締結について・・・・・・・・	文化財課	5
その他（2）	学力向上に向けて～令和7年度全国学力・学習状況調 査より～・・・・・・・・・・・・・・・・	指導課	7

議案第 22 号

市川市奨学生選考委員会委員の委嘱について

市川市奨学生選考委員会委員を委嘱したいので、教育委員会の議決を求める。

令和 7 年 11 月 6 日提出

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人

理 由

本年 11 月 30 日をもって任期満了となる委員について、市川市奨学資金  
条例第 10 条第 1 項の規定に基づき、新たに委員を委嘱する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

# 市川市奨学生選考委員会 委嘱委員一覧

(任期：令和7年12月1日～令和9年11月30日)

区分	氏名	所属・役職名等	初委嘱年月日
第1号委員	おいかわ しゅうじ 及川 秀二	学校法人市川学園市川中学校・ 高等学校 校長	令和7年12月1日 新任
第2号委員	まるやま せいいち 丸山 誠一	千葉県立国分高等学校 校長	令和7年5月1日
第3号委員	かわい しげる 河合 滋	市川市立第六中学校 校長	令和4年5月13日
第4号委員	こうむら ひでと 幸村 秀人	市川市PTA連絡協議会 事務局次 長	令和7年12月1日 新任
第6号委員	きはら すみこ 鬼原 寿美子	市川人権擁護委員協議会委員	令和3年12月1日
	しおや まゆみ 塩谷 真由美	元市川市立塩浜学園 校長	令和7年12月1日 新任

議案第 23 号

市川市教育支援委員会委員の解嘱及び委嘱について

市川市教育支援委員会委員の解嘱及び委嘱をしたいので、教育委員会の議決を求める。

令和 7 年 1 1 月 6 日 提出

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人

理 由

辞任願を提出した委員を解嘱するとともに、市川市教育支援委員会条例第 4 条第 1 項の規定に基づき、新たに委員を委嘱する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

## 市川市教育支援委員会 解嘱委員・委嘱委員 一覧

### 解嘱委員

区 分	氏 名	所属・役職名 等	解 嘱 年 月 日
第1号委員 (医師)	<small>やながわ</small> 柳川 かおり	耳鼻咽喉科医	令和7年11月12日

### 委嘱委員

区 分	氏 名	所属・役職名 等	委 嘱 年 月 日
第1号委員 (医師)	<small>さいとう たつや</small> 齊藤 達矢	耳鼻咽喉科医	令和7年11月13日

## 市川市教育委員会と國學院大學との 博物館資料の保存活用等に関する協定の締結について

國學院大學と市川市教育委員会が、相互に密接な連携を図り、それぞれの資源を有効に活用した協働による活動を推進し、地域社会の発展及び市民サービスの向上に資するため、連携協定を締結するもの。

### 1 連携事項等

- (1) 博物館における資料保存に関すること
- (2) 博物館における資料活用に関すること
- (3) 人材育成に関すること
- (4) 学際的研究および教職員等の人的交流に関すること
- (5) その他、知見等や知的財産等を活かし、連携及び協力することができる事項

### 2 締結式について

- (1) 日時  
令和7年11月11日 10時
- (2) 場所  
市川市教育委員会 教育委員会会議室
- (3) 國學院大學からの参加者  
國學院大學 学長 針本 正行 氏

### 3 その他

今回の協定締結に先立ち、昨年より國學院大學にはボランティアで市立歴史博物館の収蔵している民具の整理作業を行っていただいております。

#### ◎令和6年度実績

- ・整理作業実施回数10回、参加学生数延べ64人
- ・資料整理数99点



# 学力向上に向けて

## ～令和7年度全国学力・学習状況調査より～

その他(2) 指導課

市川市教育委員会  
学校教育指導課

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査の内容

#### ①児童生徒に対する調査

##### ア 教科に関する調査

[小学校:国、算、理 中学校:国、数、理]

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項

##### イ 質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

#### ②学校に対する質問調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

### 3 調査を実施した学校・児童生徒数(調査日:令和7年4月18日)

	対象学校数	学校数(実施率)	児童生徒数
小学校	39校※	39校(100%)	3,334人
中学校	16校※	16校(100%)	2,798人

※塩浜学園(前期課程・後期課程)を含む

### 4 市川市としての分析・解釈の方向性

○平均正答率のみに捕らわれることなく、箱ひげ図などにより多面的に分析・解釈

○児童生徒質問及び学校質問は、学力との間に一定の関係<sup>(※)</sup>がみられる項目を抜粋し、分析・解釈  
(※)相関係数の絶対値が0.2以上であることを目安

○千葉県データは、千葉市を含む

## 5 小学校【国語】に関する調査結果

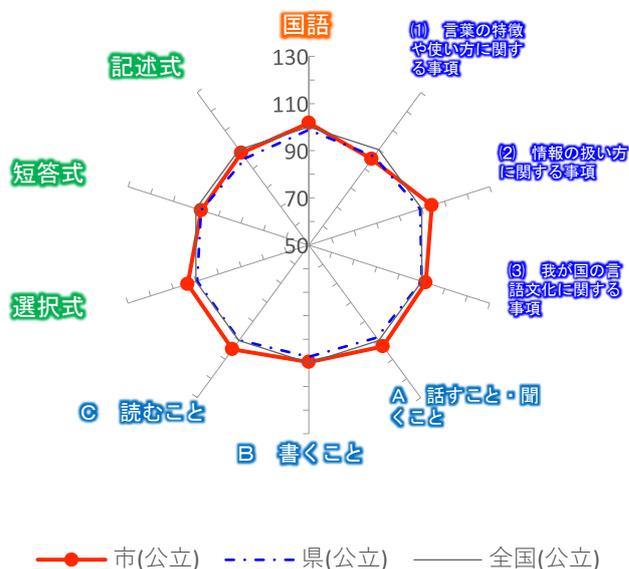
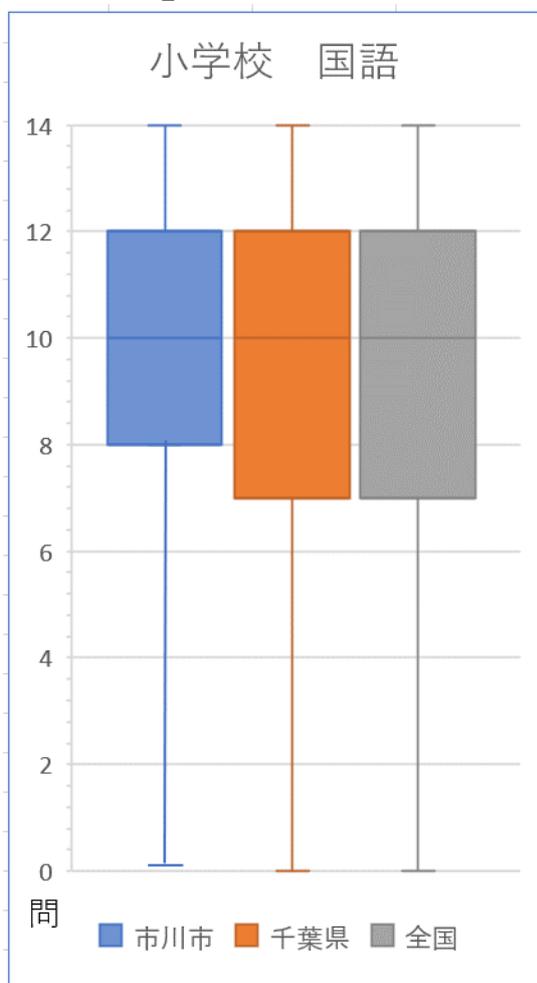
※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

### 【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
68	66	66.8

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

### 【正答数の分布】



- ・全体としては、全国平均を上回る結果となりました。
- ・正答数の分布は、県や全国と比較して、下位層が少ない結果となりました。
- ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」や、「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、全国平均を上回りました。
- ・「書くこと」や「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域及び短答式、記述式の問題は、全国平均を若干下回りました。

### 【児童質問調査】

#### <学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

小学校 国語	市川市	千葉県	全国
国語の勉強は得意ですか	60.4	60.5	61.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.0	82.1	82.8

「国語が得意だ」「授業の内容がよくわかる」について肯定的な回答をした市川市の児童の割合が、全国及び県平均を下回りました。わかりやすい授業づくりに加え、言葉による見方・考え方を働かせ、学びを実感できる、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すことが大切です。

#### <授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

小学校 国語	市川市	千葉県	全国
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか	78.4	80.0	81.8
国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか	75.9	77.4	79.1

文章を書く際にも、読む際にも、その目的や意図を明確にすることが重要です。目的を明確にすることで、「自分の考えを伝えるためにはどこを詳しく書けばよいのか」、「どんな情報を見付ければよいのか」がはっきりしてきます。子どもたちに学習の目的やゴールを提示し、何のための学習なのかを子どもたちに意識させることが大切です。

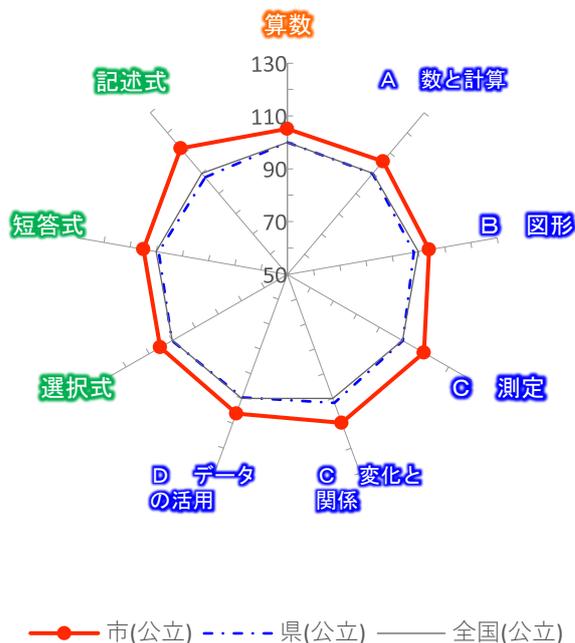
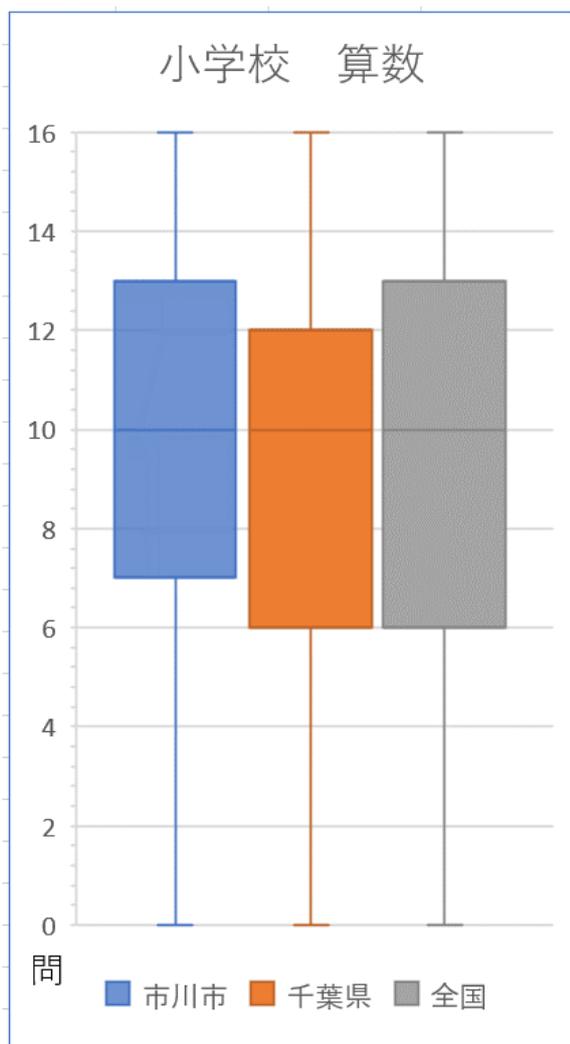
## 6 小学校【算数】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

### 【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
61	58	58.0

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

### 【正答数の分布】



- ・全体としては、全国平均を上回る結果となりました。
- ・正答数の分布は、県や全国と比較して下位層が少なく、上位層は全国と同等、県より多い結果となりました。
- ・「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の5領域で、全国平均を上回りました。
- ・記述式、短答式、選択式の問題全てで、全国平均を上回りました。

### 【児童質問調査】

#### <学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

小学校 算数	市川市	千葉県	全国
算数の勉強は好きですか	55.0	54.7	57.9
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	81.5	81.8	83.3

市川市では、「算数が好きだ」について肯定的な回答をした児童の割合は5割ほどで、全国平均を下回りました。課題を自分で考え「分かった」「できた」という喜びを感じる経験を重ねることで、算数が好きになり、新たな課題に取り組む意欲につながっていきます。

#### <授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

小学校 算数	市川市	千葉県	全国
算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	62.2	61.9	65.5
小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか	78.4	78.7	80.6

「どのように考えたか説明する活動をよく行っている」「小数や分数の計算は工夫して計算しようとしている」について肯定的な回答をした市川市の児童の割合は全国平均を下回りました。説明する活動では、図、式、言葉を使って説明する場面を設定することが大切です。相手に分かりやすく伝えることは思考力や表現力を高めるためにも重要です。また、工夫して計算することで、計算が簡単になったり間違いが少なくなったりするよさに気付かせることが大切です。

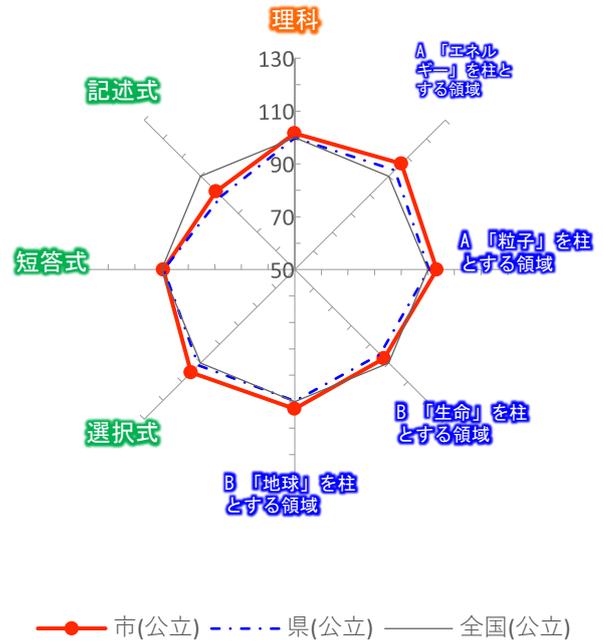
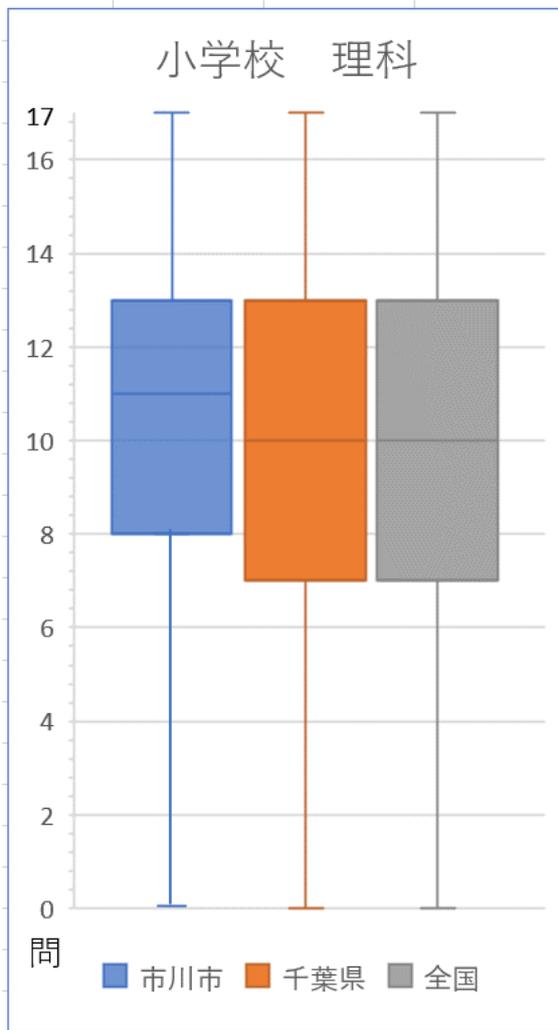
# 7 小学校【理科】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

## 【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
58	57	57.1

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

## 【正答数の分布】



- ・平均正答率は全国平均を上回る結果となりました。
- ・正答数の分布は、県や全国と比較して、点数が高い値に集中しています。
- ・「エネルギー」「粒子」「地球」の3領域で、全国平均を上回りました。
- ・「生命」の領域で全国平均を下回りました。
- ・選択式の問題で、全国平均を上回りました。
- ・短答式、記述式の問題で、全国平均を下回りました。

## 【児童質問調査】

### <学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

小学校 理科	市川市	千葉県	全国
理科の授業の内容はよく分かりますか	88.1	90.2	88.9
理科の勉強は得意ですか	77.1	81.2	78.4

「理科の授業の内容はよく分かりますか」、「理科の勉強は得意ですか」という質問に対して肯定的な回答をした児童の割合は、どちらも全国及び県の平均を若干下回る結果となりました。新しく学んだことを知識として身に付けるためには、身近な現象や児童がすでに知っていることと結びつけることが大切です。

### <授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

小学校 理科	市川市	千葉県	全国
理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	90.7	92.1	92.4
理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えていますか	83.4	85.6	85.7
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	86.4	88.1	88.4

理科の授業の進め方に関する上記3つの質問で、全国及び県の平均を下回りました。観察や実験を行う際は、自分で予想や仮説を考えることや、観察や実験の結果からどのようなことが分かったのかを考えることが必要です。

## 8 中学校【国語】に関する調査結果

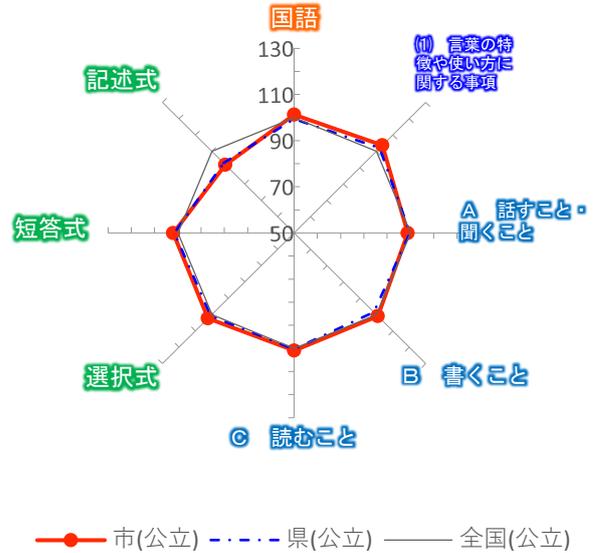
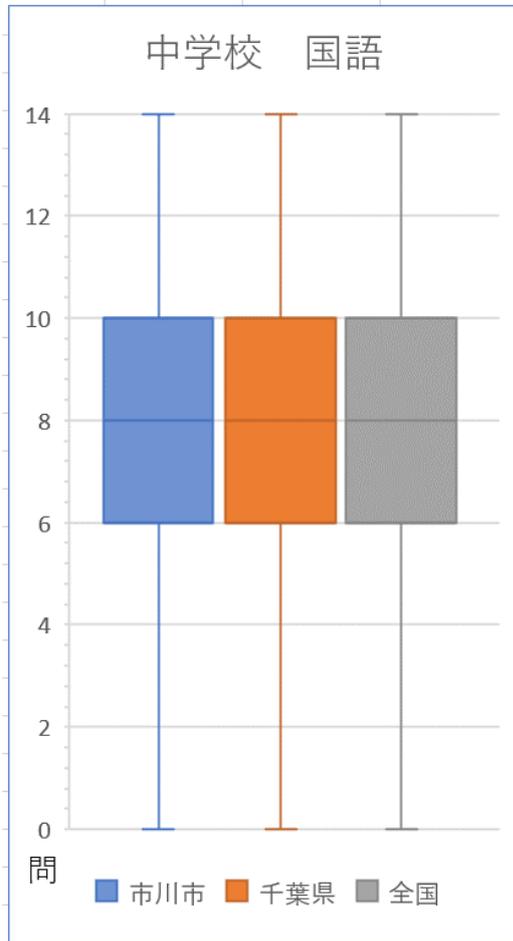
※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

### 【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
55	54	54.3

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

### 【正答数の分布】



- ・全体としては、全国平均と同等の結果となりました。
- ・正答数の分布は、全体のばらつきが県や全国と同等の結果となりました。
- ・「書くこと」「読むこと」や「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、全国平均を上回りました。
- ・「話すこと・聞くこと」の領域及び記述式の問題は全国平均を若干下回りました。

### 【生徒質問調査】

#### <学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

中学校 国語	市川市	千葉県	全国
国語の勉強は得意ですか	47.0	48.9	51.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	72.7	75.8	77.0

国語が「得意だ」「よく分かる」について肯定的な回答をした市川市の生徒の割合が全国平均を5ポイント近く下回りました。生徒が必要感をもつことができる言語活動を設定することや、評価の観点を具体的に示し、観点に基づいた学習活動に対しての自己評価を行うことにより、学びの成果を実感させていくことが大切です。

#### <授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

中学校 国語	市川市	千葉県	全国
国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか	69.7	72.6	74.0
国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか	69.6	72.5	73.6

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることや、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることの意義を生徒が実感できるようにすることが大切です。そのためには、学習指導要領に示されている言語活動例を参考にして、「付けたい力」を付けるのにふさわしい言語活動を単元全体を通して設定することが必要になります。

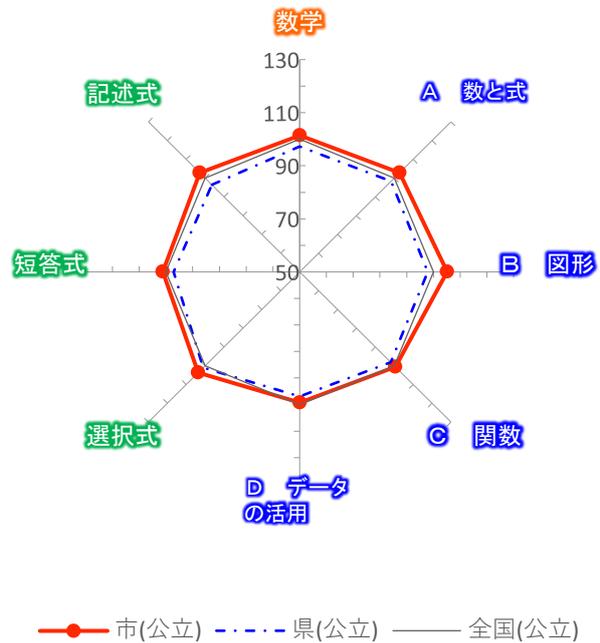
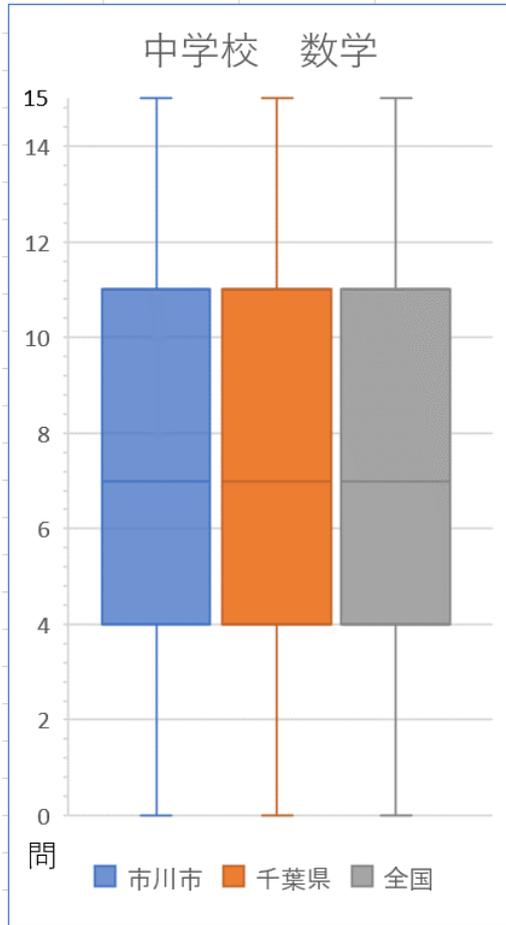
# 9 中学校【数学】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

## 【平均正答率】

市川市	千葉県	全国
49	47	48.3

※平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

## 【正答数の分布】



- ・全体としては、全国平均を上回る結果となりました。
- ・正答数の分布は、全体のばらつきが県や全国と同等の結果となりました。
- ・「数と式」「図形」「関数」の3領域で全国平均を上回りましたが、「データの活用」の領域は全国平均を若干下回りました。
- ・記述式、短答式、選択式の問題全てで、全国平均を上回りました。

## 【生徒質問調査】

### <学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

中学校 数学	市川市	千葉県	全国
数学の授業の内容はよく分かりますか	68.2	69.7	70.3
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	72.4	76.6	76.2

「授業の内容がよく分かる」「解き方が分からないときは、あきらめずに考える」について肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国や県平均を下回りました。身近な事象を授業に取り入れつつ、「分かる」から「解ける」といった成功体験を増やすことが、理解を深めることや数学の有用性に気付くことへつながっていきます。

### <授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

中学校 数学	市川市	千葉県	全国
数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	51.4	57.0	58.6
文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかっていることを理解することができますか	66.2	67.4	67.1

「説明する活動をよく行っている」「説明や証明を読んで、かかっていることを理解できる」について肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国や県平均を下回りました。特に説明する活動においては、全国平均から7.2ポイント低い結果となりました。他者に自分の言葉で説明することは、自身の理解を深めることにもつながるため、大切な活動です。

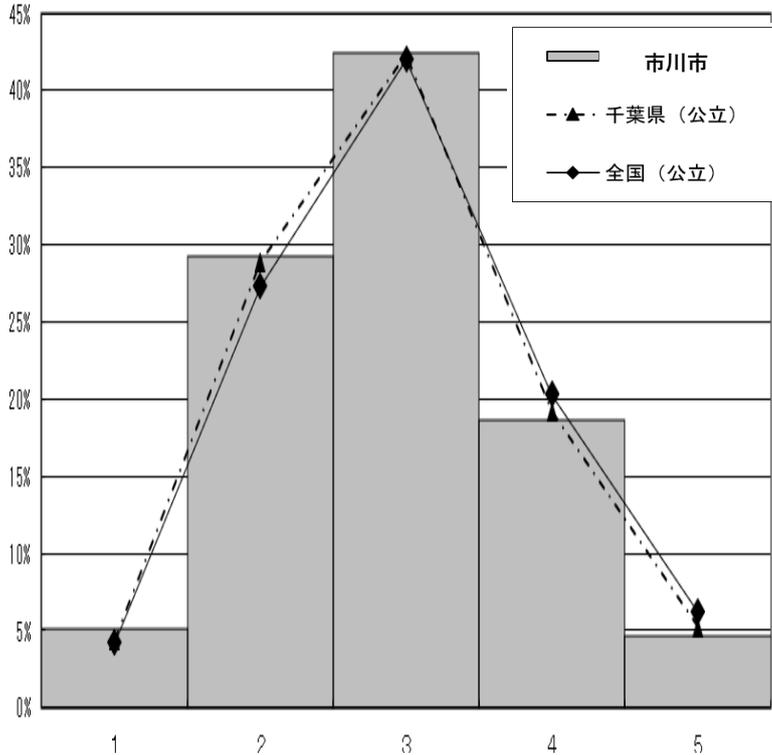
# 10 中学校【理科】に関する調査結果 ※各レーダーの数値は、全国の平均正答率を100とした場合の相対値です。

## 【IRTスコア】

市川市	千葉県	全国
492	496	503

## 【正答数分布グラフ】

IRTバンド分布グラフ（横軸：IRTバンド 縦軸：割合）



## 【生徒質問調査】

### <学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

中学校 理科	市川市	千葉県	全国
理科の授業の内容はよく分かりますか	65.9	70.9	71.4
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	57.4	62.8	63.4

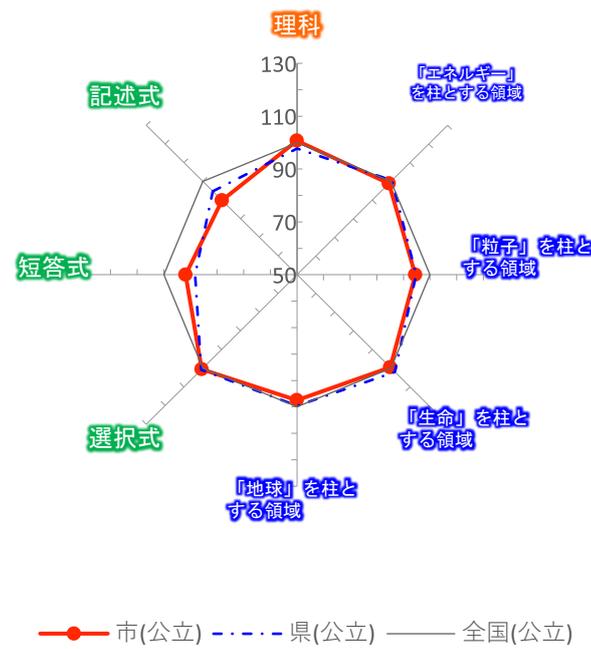
「理科の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は、全国及び県平均に比べ、低い結果となりました。また、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に対して肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は6割を下回り、全国及び県平均に比べ低い結果となりました。これらの結果から、実験や観察して得られた結果について、考察を丁寧にを行いながらまとめを導き出す場を設定し、知識を着実に身に付けていくことが必要であると考えられます。

### <授業の進め方等>

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

中学校 理科	市川市	千葉県	全国
理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか	45.9	51.0	50.7
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	51.0	56.4	56.2

「理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか」の質問に対して肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は5割ほどで、全国及び県平均を下回りました。また、「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか」の質問に対して肯定的な回答をした市川市の生徒の割合は5割を超えたものの、全国及び県平均に比べ、低い結果となりました。これらの結果から、授業で学んだことを普段の生活と結びつけて考えるよう意識することが大切であると思われます。また、授業では、自然の事象や現象に対して疑問をもったり、問題を見いだすことができるような場を設定していくことが重要です。



- ・平均正答率は全国平均を下回る結果となりました。
- ・「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての領域で、全国平均を下回りました。
- ・選択式の問題で、全国平均を上回りました。
- ・短答式、記述式の問題で、全国平均を下回りました。

## 11 児童生徒質問調査の主な結果について

### 【小学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (雑誌、新聞、教科書は除く)101冊以上	36.5	30.9
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか	79.6	76.7

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
読書は好きですか	69.4	69.7
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか	81.2	81.8
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか	64.7	69.3
5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。 (2)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	87.0	89.2
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	76.9	80.3

市川市では、家庭の蔵書数が全国平均より多いという結果となりましたが、「読書が好き」と回答した児童の割合は全国平均を下回りました。感性を磨き、表現力を高めるために、読書活動の充実は欠かせません。

ICTを活用した学習状況に関わる質問においては、「プレゼンテーションを作成すること」について、市川市では肯定的な回答をした児童の割合は全国平均より高い結果となりました。一方、「文章を作成したり、情報を整理したり、調べたりすること」、「分からないことがあったときに、すぐに調べること」、「情報を整理すること」については、全国平均を下回りました。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善のためにも、ICT機器を活用していくことが大切です。そのために、普段の授業の中で考えを共有したり、調べたりする活動等を取り入れ、文房具のようにタブレットに触れる機会を多く設けていく必要があると考えます。

また、市川市では、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関わる質問において、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだか」について肯定的な回答をした児童の割合が、全国平均を下回りました。「自分で考えてできた」という経験は、自信や意欲につながります。授業改善をさらに進め、問題解決型の学習を充実させていく必要があると考えます。

## 【中学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (一般の雑誌、新聞、教科書は除く) 101冊以上	29.3	27.2

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
読書は好きですか	60.6	61.6
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか	78.7	83.6
(あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか)	75.7	76.6
1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	56.1	63.0
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	72.0	77.7
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	62.4	70.6
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	64.9	73.4

市川市では、小学校と同様に、中学校でも家庭の蔵書数が全国平均より多い結果となりましたが、「読書が好き」と回答した生徒の割合は全国平均を下回りました。

ICTを活用した学習状況に関わる質問においては、「文章を作成したり、情報を整理したり、調べたりすること」、「プレゼンテーション資料を作成すること」について、市川市では肯定的な回答をした生徒の割合が、全国平均を下回りました。前者については、小学校質問調査でも同様の傾向が見られたため、小学校・中学校共通の課題であると考えられます。

また、市川市では、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関わる質問において、「自分の考えが伝わるよう、工夫して発表すること」、「課題の解決に向けて、自分で考えること」、「学んだことを生かしながら考えをまとめること」、「学習内容を見直し、次の学習につなげること」について肯定的な回答をした生徒の割合が、全国平均を下回りました。何を理解して、何が理解できなかったのかを学習の終わりに振り返ることは、学習の定着を図る上で不可欠であるとともに、次の学習への動機づけや見通しをもつことにつながります。授業における振り返りの場面の設定は重要であると考えます。

## 12 学校質問調査の主な結果について

### 【小学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	82.1	80.4

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	87.2	90.3
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	79.4	85.9
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	82.1	89.3

市川市は、生徒指導等に関わる質問において、「熱意をもって勉強している」、「授業中の私語が少なく落ち着いている」について肯定的な回答をした小学校の割合が、全国より低い結果となっています。これらの結果から、学習の取組においては、学習目標の明確化と達成可能性などを示し、学ぶことの意義や楽しさを感じられるようにすることが必要であると考えます。

また、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況では、市川市は、「自分の考えを発言発表すること」については、肯定的な回答をした小学校の割合が全国より高い結果となった一方、「課題解決に向けて自分で考えられること」については肯定的な回答をした小学校の割合は低い結果となりました。主体的な学びや対話的な学びに向けた授業改善は進んでいますが、そこで身に付けるべき資質・能力が身に付いていないと判断した結果と考えられます。

一層の授業改善とともに、授業によって付けたい力を明確にし、児童に伝えていく必要があると思われます。

## 【中学校】

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が高かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	93.8	92.0

全国平均と比べ、肯定的な回答の割合が低かった質問 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合(%)

	市川市	全国
調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	68.8	86.5
調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	75.1	88.2
調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	68.8	82.8
調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	75.1	90.8
調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか	87.6	95.1

市川市は、生徒指導等に関わる質問において、「私語が少なく落ち着いている」について肯定的な回答をした中学校の割合は、全国に比べ高い結果でしたが、「熱意をもって勉強している」については低い結果となりました。生徒自身が学習をする目的や意義を理解できるように教育課程全体で伝えていく必要があります。

また、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況では、「課題解決に向けて自分で考えられること」、「自分の考えを発言発表すること」、「自分の考えをしっかりと伝えられること」、「お互いに協力しながら課題解決すること」について肯定的な回答をした中学校の割合は、全国より低い結果となっています。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善は進められていますが、授業者が生徒に付けたい力をさらに明確に生徒に示していくとともに、生徒自身がどのような学び方をしているか意識し、学び方を身に付けていく必要があります。

## 13 学力向上に向けた取組について

市川市教育委員会では、以下の取組を通し、学力向上を推進します。

### ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

基礎的・基本的な内容を確実に習得できるよう、個に応じた学びを実現させるために、指導方法の改善と学習環境の整備に取り組みます。また、主体的・対話的で深い学びを通じた授業改善を図り、身に付けた知識や技能を学習や生活に活用していく力を高めるための問題解決型の学習を充実させます。

### ◆読書活動の充実

感性を豊かにし、想像力を高められるよう、家庭や地域と連携して読書活動を推進し、読書環境の整備を進めます。

図書資料を活用した多様な読書活動、学習活動を通して、生涯にわたって、読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を確立していきます。

### ◆ICT活用の促進

学習におけるICT活用の日常化を進めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を教科横断的な視点で育みます。

また、情報モラル教育を推進し、情報技術を適切かつ効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育みます。

### ◆共感的な人間関係の育成

生徒指導の充実を図ることにより、児童生徒一人一人が尊重され、安全かつ安心して教育を受けたり、生活したりする中で、よりよい人間関係を育みます。

# 14 課題が見られた主な設問

## 【小学校国語】

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

- 一 山田さんは、文章の構成をくふうして「ちらし」を書いていました。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
  - 1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。
  - 2 伝えたいことの内容を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。
  - 3 文章の筋道(ことば)が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。
  - 4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。
- 四 山田さんは、「ちらし」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた。部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の――部ア、イを漢字で書いてください。

【ちらし】

### 手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものでしょう。

**よさ1 もよう**

さまざまなもようがあり、好きなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

**季節を感じるもよう**

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

**しゅみやすきなものに合わせたもよう**

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

**よさ2 使い方**

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

**身に着ける使い方**

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がいやしくなります。

**物を包む使い方**

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

2 山田さんの字級では、伝統工芸品について詳しく書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについて詳しくせんする文章を、次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること 【書くこと】

### 【課題改善のポイント】

〔記述式〕 〈平均正答率〉市川市 63.5 全国 65.5  
〈無回答率〉市川市 1.1 全国 0.8

設問(1)の正答は「4」ですが、「1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている」や「4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている」と捉えている解答が多く見られました。いずれも、伝えたいことの内容を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることができなかつたと考えられます。内容のまとまりで段落をつくるためには、書こうとしている材料の中から、中心に述べたいことを絞ることが重要です。そうすることで、中心となる事柄や、それに関わる他の書きたい事柄が明らかになります。文章を書く際にまずはそれぞれの児童が「何のためにその文章を書きたいのか」という目的を明確に持つことが大切です。その上で、その目的を達成するには、「何を書きたいのか」を整理し、書く内容の中心を決めることが重要です。

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

### 【課題改善のポイント】

〔記述式〕 〈平均正答率〉市川市 65.2 全国 72.1  
〈無回答率〉市川市 6.2 全国 4.3

同じ読み方をする「熱」、「厚」と解答している児童が見られたことから、同音異義語に注意して書くことに課題があると考えられます。書く目的や意図に応じて自分の思いや考えを伝えるためにも適切に漢字を使い分ける力が身に付くようにすることが大切です。漢字を書くことについては、当該学年の前の学年に配当される漢字を書き、文や文章で使おうとする習慣を身に付けるようにするとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文中で使うようにすることが重要です。特に今後は、ICT機器を使って文章を書く機会が増えることも予想されます。そのため、辞書を活用し、言葉の意味を確認するなどして、同音異義語から文章に合う漢字を選ぶ力を付けていくことも必要です。

## 【小学校算数】

3

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



みおり

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 2 個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 1 個分です。  
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2 + 1$  を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の 3 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の 2 個分です。  
 もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述すること

〔記述式〕 〈平均正答率〉 市川市27.0 全国23.0  
 〈無回答率〉 市川市16.6 全国15.7

### 【課題改善のポイント】

分数の加法については、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見だすことで、既習の整数の加法に帰着することが重要です。そのために、同分母分数の加法では、「単位分数のいくつ分」とみることで、整数の加法に帰着して考えられると気付かせることが大切です。そして、異分母分数の場合には、そのままでは整数の加法で考えることができないことに気付かせ、その上で、通分することによって加数と被加数の共通する単位分数を見だし、整数の加法に帰着できるか考察していきます。

3

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



数直線上の目盛りが表す数を分数で表すことで、分数の意味や表し方について理解を深めること

〔短答式〕 〈平均正答率〉 市川市37.1 全国35.0  
 〈無回答率〉 市川市 9.2 全国 7.8

### 【課題改善のポイント】

課題が見られた設問では、数直線の0から2までが6等分されているため、単位分数を $\frac{1}{6}$ と捉えてしまった誤答が目立ちました。数直線を見るときは、0から1までが何等分されているのかに着目して、単位分数を捉えます。その上で、他の目盛りが表す分数を単位分数のいくつ分として考えることができるようにすることが大切です。

# 【小学校理科】

1 としやさんとあかりさんは、学校の花だんに入れた、赤玉土あかだまどという土を見て、気づいたことを話しています。

赤玉土のようす

つぶの大きさに分けた赤玉土





大きいつぶ  
約16mm



中くらいのつぶ  
約11mm



小さいつぶ  
約6mm



赤玉土のつぶの大きさは、いろいろあるね。

あかり 「水のしみこみ方は、土のつぶの大きさによってちがいがあ

る」ということを学習したけれど、赤玉土でも同じなのかな。水がしみこむ時間で比べてみよう。

あかりさんたちは、次のような【問題】を調べることにしました。

【問題】  
水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがあ

るのだろうか。

【結果】 (赤玉土に水がしみこむ時間)

	コップA (大きいつぶ)	コップB (小さいつぶ)
1回目	3秒	11秒
2回目	4秒	10秒
3回目	4秒	11秒

あかりさんは、【問題に対するまとめ】を考えています。

あかり 【問題に対するまとめ】は、「水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがあ

るといえるね。」

(2) あかりさんが下線部のようにまとめたわけを、上の【結果】を使って書きましよう。

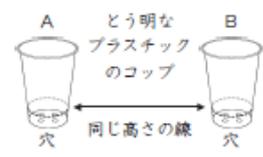
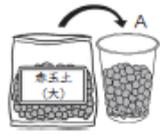
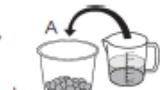
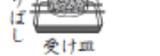
## 【課題改善のポイント】

ここでは、赤玉土の「粒の大きさ」による水のしみ込み方の違いについて、「結果」を基に考察し、その理由を表現できることが求められています。本設問にあるように、「問題に対するまとめ」を導くには、「結果」を基に考察することが大切です。

観察、実験などの結果を基に、自分の考えを表現するためには、結果を整理し、具体的な数値を基に、より妥当な考えをつくりだし、表現することが重要です。その際、表やグラフなどに整理することで、結果を比較したり、複数の結果から多面的に考えたりしやすくなります。また、根拠となる結果を具体的な数値などを用いて表現することによって、より妥当な考えをつくりだすことにつながります。

あかりさんたちは【問題】を、大きいつぶと小さいつぶの赤玉土で確かめる【方法】について考えました。

【方法】

- ① どう明なプラスチックでできた2つの同じコップに次のことをする。
  - ・4つの穴を同じようにあける。
  - ・同じ高さの線を図のように引く。
 これらを穴あきのコップA、Bとする。
 
- ② 土をふくろから取り出し、次のように入れる。
  - ・コップAは大きいつぶの赤玉土
  - ・コップBは小さいつぶの赤玉土
- ③ コップAに水をすばやく入れ、時間をはかり始め、水の面が同じ高さの線に下がるまでの時間をはかる。コップBも同じようにして時間をはかる。
 
- ④ 受け皿にたまった水、コップの土や水をすべて出し、②と③を全部で3回行う。
 

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現すること

【記述式】 <平均正答率> 市川市58.3 全国60.5  
<無回答率> 市川市 8.5 全国 8.5

## 【小学校理科】

3

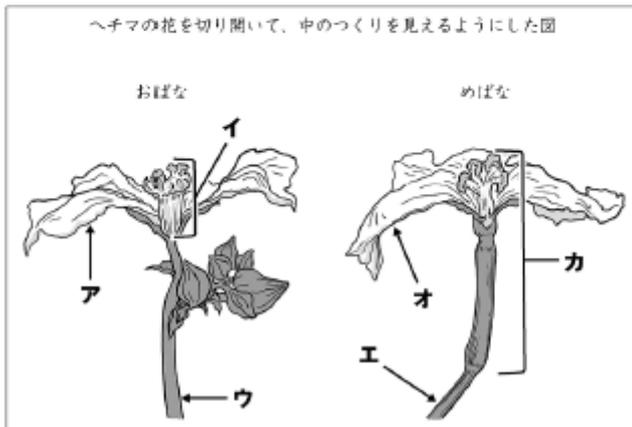
たかひろさんとてるみさんは、ヘチマの花のつくりについて調べています。



へちまのおぼなとめばなは、どんなつくりになっているのかな。

- (1) ヘチマのおしべとめしべを下の図の **ア** から **カ** の中からそれぞれ1つ選んで、その記号を書きましょう。  
また、「花粉がめしべの先につく」ことを表すことばを書きましょう。

へちまの花を切り開いて、中のつくりを見えるようにした図



たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

たかひろさんが行った実験



しめらせた  
だっし箱

《条件》

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の《条件》の中から1つ選んで調べてみたい。



- (4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけた。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

## へちまの花のつくりや受粉についての知識が身に付いていること

### 【課題改善のポイント】

知識を他の学習や生活の場面でも活用できる程度に理解することが大切です。そのため、観察や実験したことについて、図に整理したり、関連する用語をまとめたりしながら、知識が身に付くように意識することが重要です。

【短答式】 〈平均正答率〉市川市66.8 全国70.7  
〈無回答率〉市川市 1.5 全国 1.5

## 種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること

### 【課題改善のポイント】

自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を基に問題を見だし、表現することが大切です。そのため、事実を比較し、差異点や共通点を捉えることができるようにすることが重要です。本設問では、例えば、「発芽するために必要な養分はどこからくるのだろうか」という問題を見だし、インゲンマメの種子が発芽した後の様子を観察する活動が考えられます。また、発芽する前と後のインゲンマメの種子にヨウ素液をつけ、でんぷん反応を確認し、発芽した後の種子からはでんぷん反応がないことから、「インゲンマメが成長するためには、肥料や日光が必要なのだろうか」という問題を見出すことが考えられます。

【記述式】 〈平均正答率〉市川市24.8 全国29.9  
〈無回答率〉市川市12.4 全国11.4

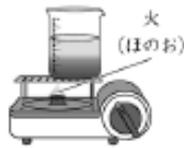
## 【小学校理科】

4

ひろみさんとゆういちさんは、ポットの水をガスコンロの火で温めていると、水の中でモヤモヤしたものが、上へ動いていくように見えることに気づきました。



ビーカーの底のはしを火で温めて、水の温まり方を調べたね。そのときは、水の温度と、水の動きを調べ、水の温められた部分が上へ動き全体が温まることを学習したよ。



ひろみ



ゆういち

ビーカーの底の中心を火で温めたときも、水は同じように温まるのかな。



ゆういちさんたちは、次のような【問題】を調べることにしました。

【問題】

ビーカーの底の中心を温めたとき、水はどのように温まるのだろうか。

【問題】を解決するために、下のような【方法】で実験をしました。

【方法】

- ① 500 mLのビーカーに300 mLのお湯を入れる。
- ② ①に味噌を少量入れ、よく混ぜてからしばらく置いて冷ます。
- ③ 実験用ガスコンロでビーカーの底の中心を温め、味噌の動きを見る。
- ④ 味噌の動きを確かめられたら、火を消す。

【結果】

温める前のようす

温めたときのようす



ゆういちさんは、【結果】をもとに【問題に対するまとめ】を考えました。



ゆういち

【問題に対するまとめ】

ビーカーの底の中心を温めたとき、水の温められた部分が上に移動して、全体が温まる。

ゆういちさんがまとめてくれて気づいたのだけど、この実験の【結果】だけでは、そのようなまとめはできないと思うな。この実験では、水の【ア】について調べていないのだから。



ひろみ

(1) 上のふきだしの【ア】にあてはまることばを書きましょう。

水の温まり方について、解決の方法を発想しながら問題を解決できるか、水に関する知識を概念的に理解していること

【短答式】 〈平均正答率〉 市川市47.8 全国50.6  
 〈無回答率〉 市川市 7.4 全国 6.1

### 【課題改善のポイント】

ここでは、水の温まり方について、予想を基に解決するための観察、実験の方法を発想し、表現することが求められます。

本設問にあるように、問題に対するまとめを導きだす際、解決の方法が適切であったかを検討することが大切です。そのため、予想したことを確かめる方法になっているかを検討して改善することが重要です。発想した解決の方法がその通りできていたか考えることの重要性を意識することが大切です。可能であれば、児童の実態に応じて複数回、検討・改善を重ねながら実験に取り組むことができるとよいでしょう。

# 【中学校国語】

【5らし】(更新版②)

**第一中学校 美術展**

専攻、興に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。私たちが美術展の準備についた作品を展示します。どれも美しいの出来です。

今年は、中学生による作品展や小学生の体験コーナーもあります。

日時 令和7年11月15日(土) 10時~16時

場所 第一中学校 体育館

会場図

体験できる時間(各回30分)

①10時~ ②11時~ ③12時~ ④13時~

※学生と一緒に、好きなスタイルを自分で決めて自分だけのペン立てをつくらせます。

第一小学校も先生のみなさんへ

四 今年の美術展では、昨年の美術展に登場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【5らし】(更新版②)の□の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み直して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び(どちらを選んでもかまいません)、それと結びつく小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選び、それぞれ書きつづけてください。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使ってください。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫】

A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者のために応じて説明する。

B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につけてもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

A どうやってみんなが新しい作品をつけたのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみでした。

B イーイイ作品が展示されていて楽しかったです。思いもつかなかった作品が多いように感じました。

C おみやげにペン立てをもらってよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【工夫】 【感想の一部】

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

→ 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶさない。

第一小学校も先生のみなさんへ

## 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと 【書くこと】

【記述式】 <平均正答率>市川市 29.0 全国 30.1  
<無回答率> 市川市 1.7 全国 1.6

### 【課題改善のポイント】

根拠を明確にするには、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認することが必要です。その上で、接続する語句や指示する語句を用いるなどして、伝えたい事柄とその根拠とを適切に結びつけたり、事実や事柄を具体的に示したりして書くことが大切です。そのために、提案や企画など、相手や目的を明確にして自分の考えを簡潔にまとめて書く学習が有効です。

2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあんなにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、(スライド③)から【村田さんのスピーチ】までを読んで、あとの問いに答えなさい。

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリーゴールド」をもとにしたアイデアを考えました。「マリーゴールド」は、皆さんも知っているのとおり、環境委員会が参加者を募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心が膨らんだこともあるのではないですか。マリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育てています。

スライドに示したように、次の年、また次の年へとつなぐ、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。取れた花を売らただけではなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家で育てたい参加者は種をもらって種ります。私も、種をもって、家族と一緒に育てています。ただ、

みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は減ってしまいます。……1年間で採取した種のうち、半分は枯れてしまうので、そこで考えたのが、今行っている活動を発展させた「つなごうマリーゴールド」です。

このプロジェクトの長所は、まず、取った種を活用できることです。そして、地域の方にも、花を育てる楽しみを味わってもらえます。しかも、マリーゴールドは毎年採取できるので、このプロジェクトも持続可能なんです。

このプロジェクトの内容は、取った種を地域の希望する方にも配るというものです。例えば、地域の方が未採集する学校行事や、私たちが参加する地域の行事などで取りたいと思います。育ててくださる地域の方のために、取った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイントを書いたカードと一緒に渡します。

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思います。

ここで、私の発表を終わります。

村田さん 青木さん あんな

(スライド③)

「マリーゴールド」を育てる活動へ

採取した種を配る

育ててもらう

持続可能

(スライド④)

マリーゴールドの種

(スライド⑤)

「つなごうマリーゴールド」の長所

○取った種を活用できる

○地域の方にも楽しんでもらえる

こちらも持続可能

(スライド⑥)

「つなごうマリーゴールド」の内容

○取った種を地域の希望者に配る

- ・学校行事や地域の行事で
- ・育て方のポイントを書いたカードを添えて

(スライド⑦)

「つなごうマリーゴールド」

四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の□の内容をより分かりやすく伝えるために、(スライド③)を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでの中から1つ選び(どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません)、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。

なお、読み直して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてかまいません。

【村田さんのスピーチ】の□

(スライド③)

「つなごうマリーゴールド」

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思います。

【工夫の仕方】

A (スライド③)に、言葉を追加する。

B (スライド③)のイラストを修正したり、イラストが付け加えたりする。

C AとBを組み合わせる。

条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するか、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、□の内容を具体例に取り上げて書くこと。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫の仕方】

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

→ 選んだ【工夫の仕方】の記号を塗りつぶさない。

## 資料や機器を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること 【話すこと・聞くこと】

【記述式】 <平均正答率>市川市 19.7 全国 23.2  
<無回答率> 市川市 3.5 全国 4.0

### 【課題改善のポイント】

【村田さんのスピーチ】と<スライド⑤>を結びつけて、スピーチのどの部分をより分かりやすく伝えたいのかを明確にすることに課題が見られました。

伝えたい内容を適切に伝えるためには、話の内容を踏まえ、重点や根拠が明らかになっているか、説明が不足していないか、中心となる事柄が強調されているかなど、自分の考えが聞き手に分かりやすく伝わっているかを確認することが大切です。また、そのための効果的な資料や機器の使い方について検討することも重要です。例えば、話の内容が十分に踏まえられていないスライドの改善案を検討する学習活動が考えられます。

## 【中学校数学】

- 4 一次関数  $y = 6x + 5$  の変化の割合は6です。この一次関数について、 $x$  の増加量が2のときの  $y$  の増加量を求めなさい。

具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を見だし、表、式、グラフなどを活用して数学的に処理し、その特徴を捉えること

【短答式】 〈平均正答率〉 市川市34.5 全国34.7  
〈無回答率〉 市川市 7.9 全国 8.0

### 【課題改善のポイント】

関数について、表、式、グラフを関連付けて変化や対応の様子を捉える活動が重要です。その際、日常生活や社会の事象における問題において、その事象から関数の関係を見だし、増加量や変化の割合を活用して解決できるように取り組むことが大切です。この活動を通して、表、式、グラフから読み取れる情報を言語化し、理解を深め、数学的に処理できるようにしていきます。

- 5 下の表は、ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

ハンドボール投げの記録

階級 (m)	度数 (人)
以上 未満	
5 ~ 10	3
10 ~ 15	8
15 ~ 20	9
20 ~ 25	10
25 ~ 30	6
30 ~ 35	3
35 ~ 40	1
合計	40

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求めなさい。

【短答式】 〈平均正答率〉 市川市38.1 全国42.5  
〈無回答率〉 市川市11.3 全国 9.2

### 【課題改善のポイント】

資料の活用の領域では、日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することが重要です。その際、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという活動が大切です。この活動を通して、データの収集の仕方や分析の方法は適切か、結論は妥当かなど、批判的に考察できるようにしていきます。

# 【中学校理科】

1

理科の実験で使用する水について考える



理科の実験で使用する水は精製水です。精製水について、調べたことを発表しましょう。

精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりすることによってつくった水です。



精製水は、右図のように水道水に電熱線を入れて水を加熱し、蒸留する方法でつくられることが多いです。

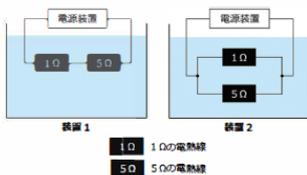
電気エネルギーを利用して水を加熱しているんですね。水は温まりにくいから、効率よく温める工夫が必要ですね。



より速く水を温めるには、電熱線をどのようにつげたらよいでしょうか。右の装置で考えてみましょう。



同じ電圧を加えたとき、回路全体の抵抗がどうなるかを考えれば分かりそうです。



10 Ωの電熱線  
50 Ωの電熱線

課題を設定する



【Aさんの疑問】  
理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？

【Aさんの疑問】を調べたり、実験を行ったりして解決するためには、どのような課題にすればよいですか？



課題は、  
( ) にしようと思います。

(2)

【Aさんの疑問】を解決するために、( ) に適切な課題を書きなさい。

課題

身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できること

〔記述式〕 〈平均正答率〉 市川市42.0 全国46.2  
〈無回答率〉 市川市10.0 全国 8.0

## 【課題改善のポイント】

見通しをもって科学的に探究をするためには、疑問や見いだした問題から、解決するための課題を設定することが大切です。また、生徒が自分の言葉で課題を表現し、見通しをもって探究できるようにするために、「課題の把握」の段階で生徒が疑問や問題を見いだしやすい自然の事物・現象を提示することが重要です。

1

水道水について調べる



顕微鏡で観察した結果から、地層からしみ出した水にいろいろな生物がいたので、このままでは安全に飲めないことが分かりました。

地層からしみ出した水などを安全な水道水にするため、ろ過したり、塩素を含む薬品を加えたりしています。

水道水を顕微鏡で観察すると、図のように生物は観察されませんでした。これは、日本の水道水が安全に飲むことのできる理由の1つですね。



図

元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いていること

〔短答式〕 〈平均正答率〉 市川市41.2 全国44.9  
〈無回答率〉 市川市10.2 全国 8.5

## 【課題改善のポイント】

物質やその変化を表現したり理解したりする上で、物質を元素記号で表すことができると理解し、元素記号の表し方についての知識及び技能を身に付けることは大切です。

原子記号の表し方や、化学式や化学反応式について正しく理解するためには、繰り返し学習することが必要です。また、物質やその変化を記述したり理解したりするために元素記号を用いることは有効であると気付くことも大切です。

(5)

大文字、小文字を区別して、下線部の元素記号を書きなさい。

解答欄

# 【中学校理科】

1

探究を振り返る

水道水、精製水について探究したことを発表しています。

水道水について

河川 浄水施設 家庭

- ・河川の水などを顕微鏡で観察すると、いろいろな生物がいるので、安全に飲むための工夫をしている。
- ・河川の水などを浄水施設でろ過し、塩素を注入したものを水道水として利用している。

精製水について

- ・理科の実験で使用する精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりしてつくられ、販売されている。
- ・精製水とミネラルウォーターとの違いは何かを現在調べている。

〔記述式〕 〈平均正答率〉 市川市74.0 全国79.4  
 〈無回答率〉 市川市11.5 全国 9.9

## 【課題改善のポイント】

自然の事物・現象を主体的に探究する活動を促す上で、探究の過程を振り返って新たな疑問をもち、探究を深めるようにすることは大切です。

振り返りを表現することが苦手な生徒は、まずは「最初は〇〇〇と書いていましたが、□□□という考えに変わりました」などの自己の変容に関する記述をすることから始めるとよいでしょう。

さらに一歩進んで、「生じた新たな疑問について」「自分の考えが探究を通じて変化したことについて」「身近な生活との関連について」などの視点を持って振り返りができるようになると、主体的な学習が深まると考えられます。

探究を通じて、さらに疑問に感じたことに着目して振り返ります。

探究を通じて、はじめの考えから考えが変化することに着目して振り返ります。

探究を通じて、身近な生活とのつながりを感じたことに着目して振り返ります。

…水について、…ということが分かり、…についてさらに疑問を感じたので…

最初は…と書いていたのですが、…という考えに変わりました。

…ので、身近な生活とのつながりがあることが分かりました。

Bさん

Cさん

Dさん

(6)

上の発表を見て、水道水や精製水に対し、Bさん、Cさん、Dさんを参考にして、あなたの振り返りを書きなさい。

振り返り

2

理科の授業で、ストローと水の入っているペットボトルで楽器をつくり、音について科学的に探究しています。

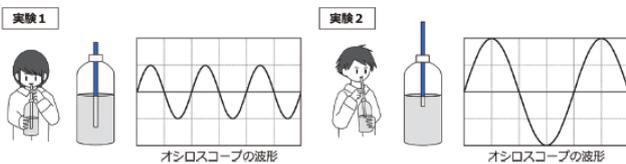
(1)、(2)の各問いに答えなさい。

ストローを上下に動かしたら音の高さが変わりました。

ストローの中に息を吹き込むと音が出るのは、ストローの中の空気が振動したからだよね。

音の振動の様子をオシロスコープで調べてみよう。

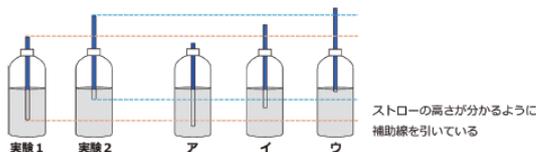
【実験】「ストロー内の空気が入る長さ(■の部分)」を変えて実験を行ったときのオシロスコープの波形を観察しました。



右のように【考察】しました。

【考察】「ストロー内の空気が入る長さ(■の部分)」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。

【考察】をより確かなものにするためには、あと1つ実験を行うとよいですね。次のア、イ、ウのどれで実験を行えばよいのかな。



(1)

下図について、【考察】をより確かなものにするために1つ実験を追加するとしたら、上のア、イ、ウのうち、あなたはどの実験を選びますか、1つ選びなさい。

上のア、イ、ウのどの実験を選んでもちまいません。

また、上で選んだ実験を行ったときに、オシロスコープの波形から何が分かればよいのか、振動数という言葉を使って書きなさい。

## 知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できること

〔記述式〕 〈平均正答率〉 市川市10.7 全国14.0  
 〈無回答率〉 市川市 1.9 全国 1.9

## 【課題改善のポイント】

考察をより確かなものにするためには、知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画する必要があります。また、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかも重要です。

考察の妥当性を高めるために、計画した観察、実験の結果から何が分かればよいのかをはっきりさせてから観察、実験を行うなどして、科学的な探究の過程を振り返り、探究の見通しをもたせることが大切です。また、予想される実験の結果を適切に説明する際には、「実験1と比較して・・・」など、比較して関係付ける対象を明確にして示すようにするとよいでしょう。

# 【中学校理科】

3

理科の授業で温度を学習し、教室に設置している温度計の仕組みに興味をもち、科学的に探究しています。  
 (1)、(2)の各問いに答えなさい。

温度センサーが内部にあり、センサーに流れる電流の大きさによって温度を測定していることが分かりました。



オームの法則が成り立つのかな。



調べて分かったことから、仮説を立てて、実験を計画しましょう。



〔選択式〕 〈平均正答率〉 市川市31.9 全国34.9  
 〈無回答率〉 市川市 0.6 全国 0.2

## 【課題改善のポイント】

理科では、身に付けた知識及び技能を活用し、観察、実験を行う前に、結果がどのようになるかを予想し、見通しをもって観察、実験を行うことが大切です。

実験を行う際は、仮説を立てて科学的に検証し、その仮説に基づいて、得られた結果が正しいのかを考えることが重要です。

また、実験を行った際、予想と異なる結果が出たときは、「実験操作に不具合があったのか」「実験器具の設置が正しかったのか」「予想の通りにならない他の要因があるのか」などを検討することで科学的探究が深まると考えられます。

【仮説】

図1の回路で実験を行ったとき、回路の中の温度センサーには、オームの法則が成り立つ。

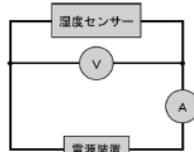


図1

(1)

【仮説】が正しい場合、どのような結果が得られればよいか、最も適切なものを1つ選びなさい。

<input type="radio"/>	電圧の大きさ (V)	0.5	1.0	1.5	<input type="radio"/>	電圧の大きさ (V)	0.5	1.0	1.5
	電流の大きさ (mA)	1.0	1.5	2.0		電流の大きさ (mA)	0.5	1.0	1.5
<input type="radio"/>	電圧の大きさ (V)	0.5	1.0	1.5	<input type="radio"/>	電圧の大きさ (V)	0.5	1.0	1.5
	電流の大きさ (mA)	1.5	1.5	1.5		電流の大きさ (mA)	3.0	1.5	1.0

8

博物館で学芸員より説明を受け、大地の変化について探究しています。  
 (1)、(2)の各問いに答えなさい。

この地域には、3つの言い伝えがあります。展示されている絵と説明を見ましょう。

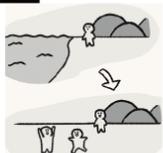


言い伝え①



大昔、2人の力持ちにより**巨岩から地面が押されたら**、なだらかな山ができた。

言い伝え②



はるか昔、**海だった場所が陸地**となった。田や畑にできる土地が増えて、この地域の人は喜んだ。

言い伝え③



**地面が割れて**、恵みの湯がわいた。

〔記述式〕 〈平均正答率〉 市川市37.1 全国42.2  
 〈無回答率〉 市川市 4.2 全国 3.2

## 【課題改善のポイント】

「地球」を柱とする領域では、時間的・空間的な見方を働かせて、過去に起きたと考えられる事象を推論したり、地層の広がり方を推定したりすることが大切です。大地の変化に関する知識及び技能を活用して、科学的な根拠に基づいて地層の広がりや大地の変化について考えることで、これから起こると考えられる事象を推定できるようになり、自他の安全や生命を守ることに繋がると考えられます。

「地球」を柱とする領域は、それに関わる自然の事物・現象や実物に触れることが難しい分野です。Webの活用他、博物館等では、ボーリングの結果や露頭（岩石や鉱脈の一部が地表に現れているところ）の標本を展示している施設もあることから、このような施設を利用して実物に触れる経験をするのもよいでしょう。



私たちの足元にある地層をボーリング調査することで、言い伝え①～③が起きたことは、科学的に裏付けられています。



言い伝え①～③の**下線部**が科学的に裏付けられていると言うためには、大地の変化が起きて、その結果、地層から何が分かればよいかの？



言い伝え①の**下線部**が起きた理由の一つとして、その地層にしゅう曲が見られると、科学的に裏付けられていると言えますね。

(1) 言い伝え②、③のうちから**1つ**選び、**下線部**が起きたことを科学的に裏付けるためには、地層を調べるとき何が分かればよいか、最も適切な内容を書きなさい。

言い伝え②、③はどちらを選んででもかまいません。

言い伝え、選択肢から選ぶ

分かればよいこと